

講義名	日本近代思想史		
科目区分	教養科目		
担当教員	田中 美子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	43012

主題と概要

私たちが高校時代までに教わってきた「個性の尊重」という思想は、実は近代以降の価値観であり、これは個人主義の思想と呼ばれている。この個人主義に基づいて、私たちは就職活動をし、「個性の活かせる」仕事や「自分の好きな」仕事に就くことを目指す。しかし、実社会では「個性」が尊重されているという実感は得られにくく、置くこともあるだろう。そうした時に思い出せば、自分の置かれた状況が俯瞰できるような視点を、授業では提供したい。より具体的には、個人主義導入の経緯、個人主義と民主主義に対する一般的な理解不足、個人主義の利点と欠点を紹介する。

到達目標

近代日本が、西洋から個人主義の思想を導入した経緯を知る。
「自分の人生は自分で決める」という個人主義の立場で、卒業後の進路を考える契機を得る。

提出課題

毎授業ごとの振り返りシート
学期末レポート

評価の基準

配点約30% 授業の内容が反映されていること。
配点約70% 調べた内容が客観的にまとめられていること。また、自分の考察が書かれていること。

履修にあたっての注意・助言他

ノートを用意すること。
授業計画は多少変更することがある。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

プリント資料を適宜、配布する。参考文献は以下。
福沢諭吉『学問のすすめ』岩波文庫 福沢諭吉 / 齋藤孝訳『学問のすすめ』ちくま新書 福沢諭吉 / 齋藤孝訳
福沢諭吉『学問のすすめ』ちくまプリマー新書 丸山真男『日本の思想』岩波新書 夏目漱石『漱石文明論集』岩波文庫
鷲田清一『くじけそうな時の臨床哲学クリニック』ちくま学芸文庫 鷲田清一『だれのための仕事』講談社学芸文庫 石井淳蔵『中内功』PHP研究所 加藤尚武編著『ホモ・コントリビューエンス』未来社

授業計画

1. 中内功の生涯
2. 中内功に影響を与えた大正デモクラシー
3. 中内功の指針となった福沢諭吉の生涯
4. 福沢諭吉の思想
5. 福沢諭吉の批判する前近代の思想
6. 夏目漱石の個人主義思想
7. 大正時代を映した作家たち
8. 夏目漱石の職業観
9. 丸山真男のデモクラシーの思想
10. 福沢、夏目、丸山の思想の共通点
11. 近現代社会の成果主義と個人主義の関係
12. 鷲田清一の仕事の思想
13. 仕事をしない人生（病気による失業、引退など）
14. 福沢諭吉による「判断力の鍛え方」
15. 現代の個人主義 使命感・貢献心・達成感

予習・復習

予習不要。
復習として、ノートをまとめ直すこと。また、自分の考察も併記しておくこと。

備考

中内功の「功」の字は正しい字ではないが、常用漢字で代用している。